

# 部活動、企業がサポート

## 浜松

スポーツチーム、業局、広告会社など浜松市内13の企業、団体が地元中学の部活動をサポートしている。管理栄養士による食育指導や体調管理講座、フットサルチームの選手による競技指導などの企画が動き出した。各企業、団体が特長を生かし、中学生の競技力向上を支援している。(細江支局・柿田中雄)

多様な地域活性化策を展開 6年11月から始まった。引佐する総合エネルギー会社エネ 南部中野球部、開成中女子バシン(中区)が学校スポーツ レー部、東部中サッカー部を盛り上げようと関連企業などに協力を呼び掛け、201 引退する今夏までの間、一県



打撃練習に励む生徒。スマートフォンのアプリでスイングを分析する  
=2月中旬、浜松市北区引佐町の市立引佐南部中

## 練習用アプリや栄養指導

大会優勝や「東海大会出場」といった各校が掲げる目標の達成を応援する。

アプリで企画をPRするエネシン営業企画部の北井佑佳さん(左)は「まだ始まったばかりで、企画をどのように進めていくか手探りの部分もあるが、いずれは参加企業同士の新たな連携にもつながるようにしたい」と展望を話す。

引佐南部中野球部はスマートフォンアプリを開発するスプライザ(中区)の製品を練習に導入している。スイングを動画撮影すると、こま送りでバットの軌道を表示できるアプリで、生徒の特徴を細かく分析できる。顧問の石原竜也さん(28)は「指導が伝わりやすくなった」と効果を話す。部員と保護者は杏林堂薬局(中区)が開く栄養セミナーにも参加し、体づくりのための献立例やパフォーマンスを上げる試合前の食事の取り方を学んだ。

同校の外山昭博校長(58)は「さまざまな人が学校運営に関わるのは子どもの成長にとって有意義。地域に根ざした学校の取り組みとして、他校にも広がつてほしい」と期待を寄せる。